

陸上自衛隊 ニュースリリース

JGSDF News Release

<http://www.mod.go.jp/gsdf/news/press/>
(お知らせ)



30. 2. 9. 2230
陸幕広報室

報道関係者各位

放射性物質を含む機材の回収及び回収した地点の 放射性物質の測定結果について

2月6日(火)の「お知らせ」において、機体及び主要な部品が飛散した地域周辺の放射線を広く測定し、身体への影響がないことを確認した旨お知らせしましたが、この度、放射性物質を含む全ての機材を回収しましたのでお知らせします。また、これらの機材を回収した地点の放射線を測定し、身体への影響がないことを確認しましたので、その結果についてもお知らせします。

2月8日(木)の13:41から16:07の間、測定を行い、これら機材を回収した地点の放射線値は $0.07 \mu\text{Sv/h}$ であり、他の地域の放射線強度($0.04 \mu\text{Sv/h}$ 程度)と同様であることから、身体への影響はありません。

なお、回収した機材の放射線についても測定した結果、クリプトン(β 線源の気体)を含む機材は、1cmの距離で23cpmであり、周辺の測定値(18cpm)と概ね同等でした。また、トリウム(α 線源の固体)を含む機材(トリウムはレンズの材料として使用)は、1cmの距離で480cpm、50cmの距離で0cpmでした。 α 線は飛程が数cmと短く、皮膚で遮断でき外部被ばくしないとともに、トリウムを含むレンズが回収されていることから内部被ばくすることもないため、身体への影響はありません。

測定対象		線種	線量	結果
機材が落達した 地点		α線	0 cpm	周辺での測定値（α線：0 cpm、β線： 18 cpm、γ線：0.07 μSv/h）と同等で あり身体への影響はありません。
		β線	18 cpm	
		γ線	0.07 μSv/h	
機 材	クリプトン （β線源の気 体）を含む機材	β線	1 cm：23 cpm 50 cm：18 cpm	周辺での測定値（18 cpm）と概ね同等で あり身体への影響はありません。
	トリウム（α 線源の固体）を 含む機材	α線	1 cm：480 cpm 50 cm：0 cpm	α線は飛程が数cmと短く、また、万が一 近づいたとしても外部被ばくしないため （皮膚で遮蔽）身体への影響はありません。

問い合わせ先

陸上幕僚監部広報室 井上、安達（担当）
（03-3268-3111 内線40082）